

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06205
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学		開催方法	■対面（ 広島キャンパス ）		
				■オンライン（録画）		
2. 科目名	地域文化学への招待—多文化共生と文化の継承を考える—					
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学	
3. 担当教員	栗原武士 地域創生学部地域創生学科 准教授 岡本弘道 地域創生学部地域創生学科 准教授					
4. 開講期間（曜日） 開講時間	令和3年7月31日（土）～ 令和3年7月31日（土） 9時00分 ～ 12時10分 （90分×2回）					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
5. 募集定員	50 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>県立広島大学地域創生学部地域創生学科：地域文化コースでは、「多文化共生」と「文化継承」という二つのテーマを基軸として、ますます多様性が高まる現代社会において、さまざまな文化的背景をもった人々がどのように共生していくか、また様々な地域の伝統文化をどのように継承し活かしていくかについて学ぶことができます。</p> <p>本講義では、2名の講師がそれぞれの研究分野にひきつけながら「多文化共生」と「文化継承」についてお話しします。その上で、「地域文化学」とはどのような学問領域なのか、学生のみなさんと考えていきます。</p> <p>①栗原武士「文学と川：現代アメリカにおける異文化間接触」 大陸国家であるアメリカにとって、川は魚という自然の恵みをもたらしてくれるだけでなく、運輸・交易のための重要な交通路でもあり、アメリカの人々にとって非常に身近な存在だったといえます。そのような川は、アメリカ文学においてどのように描かれてきたのでしょうか。牧歌的な釣り文学から政治的メッセージを含む小説まで、バラエティに富んだアメリカ文学の川のイメージを紹介します。</p> <p>②岡本弘道「種痘の受容にみる比較史：日本と琉球の事例から」 天然痘に対する牛痘種痘法の発見と普及は、近代以降の感染症予防の原点であり、単に医学的な進歩というだけでなく、社会や国家のあり方を変える大きな転換点ともなりました。18世紀末にジェンナーにより発表された牛痘種痘法は、19世紀初頭には世界各地に広まりましたが、日本と琉球での普及には、50年以上の年月を必要としました。牛痘種痘法の受容を巡る両国の事例を通じて、それぞれの社会・国家の特質と歴史的な文脈を探ってみましょう。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	（テキスト代・実習料等）					
9. 開講条件※1 あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数（ 人）定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 （7月9日（金）以前の開講科目は3月末まで／7月10日（土）以降の開講科目は6月末まで）					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと オンライン（同時・録画）の使用ソフトなど 対面またはオンライン（録画）を推薦名簿の備考欄にご記入ください。 オンライン（録画）の詳細は受講者決定後お知らせいたします。					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン（同時・録画）へ変更になる場合があります。